

2025 年度 標準化会議事業計画

1. 概 要

標準化会議は、会員ニーズに基づいた規格づくりを進めている。国内標準化活動では、JIS、JASO 及び JSMA 規格の制定及び改正原案作業に取り組む。国際標準化活動では、ISO/TC227 ばねの規格開発を継続実施する。具体的には、2024 年度から日本がコンビーナとなり進められている ISO 16249「ばね－記号」について、DIS（国際規格案）の照会段階への移行を推進する。

また、9 月 26 日に中国の北京で開催される第 21 回 ISO/TC227 ばね国際会議に参加し、ISO 規格化に向けての原案審議を行う予定である。

2. 標準化会議開催計画

第 1 回標準化会議は 6 月、第 2 回は 9 月、第 3 回は 2026 年 2 月に開催予定である。ISO/TC227 ばね国際規格開発、各部会担当の JSMA、JIS 及び JASO 規格開発の活動計画について審議予定である。

3. 活動の詳細

(1) 国内規格関係

① JIS 規格関係

2025 年度は、JIS B2704-1「コイルばね－第 1 部：基本計算方法」及び JIS B 2704-2「コイルばね－第 2 部：仕様の表し方」の改正素案作成作業を行う。活動期間は、2025 年 7 月～2026 年 2 月の 8 ヶ月間。

また、JIS B2710-3「重ね板ばね－第 3 部：測定及び試験方法」及び JIS B 2710-4「重ね板ばね－第 4 部：製品仕様」については、改正に向けて活動を開始する。

その他、定期見直し調査対象の 4 規格への対応を行う。

② JASO 規格関係

自動車技術会規格委員会要素部会の活動に例年どおり参加し、規格改正作業を進める。

2025 年度からはビークルダイナミクス部会の活動にも参加する。

③ JSMA 規格関係

標準化会議の 4 部会が共に年間 1 から 2 規格の改正原案作成作業を行う。また、定期見直し対象の 9 規格への対応を行う。

(2) ISO 規格関係

① ISO/TC227 ばね関連の国際標準化活動

1) 第 21 回 ISO/TC227 国際会議

9 月 26 日に中国の北京で開催予定の国際会議に参加し、以下の議題を審議する予定である。

- ・ ISO 16249「ばね－記号」
- ・ ISO 2162-2「製図－ばね－第 2 部：円筒圧縮コイルばね用データの表示方法」

2) ISO/TC227 ばね 国内委員会

国際会議及び投票案件への対応のため、標準化会議と同日に国内委員会を開催予定である。

② 政府制度の活用

政府制度を第 21 回 ISO/TC227 国際会議にて活用し、ばねの国際標準化活動の推進を図る。